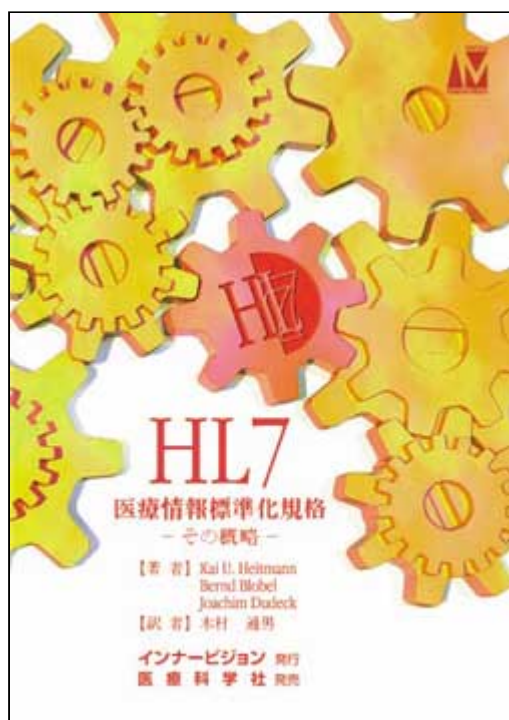


「HL7 医療情報標準化規格 -その概略-」発刊(2002年3月1日予定)



待望のHL7入門書が発刊されます。HL7協会ドイツ支部で作成され、英語を始め主要語に翻訳されている本書が、日本HL7協会技術委員長の木村通男先生により日本語に翻訳されました。

【著者】

Kai U. Heitmann Associate Professor, University of Koln
Bernd Blobel Professor, University of Madgeburg
Joachim Dudeck Professor, University of Giessen

【訳者】

木村 通男 浜松医科大学医療情報部教授
日本HL7協会技術委員長

【定価】 1200円(税別)

【発行】インナービジョン社

〒113-0034 東京都文京区湯島2-16-10
TEL 03-3818-3502 FAX 03-3818-3522
E-mail info@innervision.co.jp

※お求めは直接インナービジョン社様にTEL,FAX,Mailでご注文下さい。送料サービスの1260円(税込)で入手できます。

【参考:目次構成】

0 はじめに

- ・HL7—医療情報標準化規格

1 概要

- ・なぜ情報標準化規格が必要なのか？
- ・相互接続は想像するほど簡単ではない
- ・HL7—医療情報標準化規格
- ・機能と目的
- ・HL7を使うメリット

2 HL7の概要

- ・HL7の起源
- ・そのはじまり
- ・HL7の名前について
- ・必要とされる環境
- ・HL7の目標
- ・HL7はプラグ・アンド・プレイ対応か？
- ・HL7の基本コンセプト
- ・多彩な用途に対応するメッセージ
- ・HL7のデザイン
- ・HL7メッセージを解剖する
- ・ユースケース—いつ、何にHL7を使用するか？
- ・RIM, DIMなどの新手法
- ・HL7のセキュリティ・ソリューション
- ・オープン・セキュリティ・アーキテクチャ
- ・これからについて

3 HL7グループと国際支部

- ・HL7の協力組織

- ・国際支部
- ・残された課題
- ・加盟と加盟特典
- ・連絡先
- ・索引